

三 沢 市 立 三 沢 病 院 事 業 運 営 審 議 会 会 議 録	
開催日時	令和8年2月10日(火) 13時30分～14時52分
場 所	三沢市立三沢病院 1階 会議室
出席者	委 員 会 長 堤 喜一郎 委 員 鈴木 重正 委 員 久保田 隆二 委 員 伊藤 博次 委 員 出戸 勝 委 員 野川 剛 (委員6名出席)
	事 務 局 事業管理者 伊藤 悦朗 院長 斎藤 聡 看護局長 岡田 理津子 事務局長 山本 新一 同局管理課長 鈴木 洋一 同局同課副参事兼課長補佐 中野渡 孝英 同局同課副参事兼課長補佐 小笠原 賢 同局同課経営企画係長 今井 理恵 同局同課管財係長 織笠 敬平 同局同課庶務会計係員 別部 容寛 同局医事課長 柿本 尚人 同局同課課長補佐 蛭名 剛 同局同課課長補佐 田中 志依 同局同課医事係長 苔米地 望 同局同課医療情報管理係長 木村 真也
次 第	1 開会 2 事業管理者挨拶 3 案件 (1) 令和7年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算(第3号)について (2) 令和8年度三沢市立三沢病院事業会計予算について (3) 三沢市医師等修学資金の貸与について 4 その他 5 閉会

会議の経過及び審議結果

◇案件

- ・案件（１）として、令和７年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算（第３号）について、原案のとおり了承された。
- ・案件（２）として、令和８年度三沢市立三沢病院事業会計予算について、原案のとおり了承された。
- ・案件（３）として、三沢市医師等修学資金の貸与について、原案のとおり了承された。

◇主な質疑

- ・案件（２）

【委員】 医業収益向上のために、もっと地域から患者を受け入れる方策はないか。

【三沢病院】 地域の人口が減っているが、患者の増加についてはクリニックからの紹介が重要であり、定期的にクリニックの要望を確認し、地域連携を強化し受け入れを推進している。

【委員】 クリニックへの訪問については、どのくらいの頻度か。

【三沢病院】 上十三の中南部、八戸の北部には、最低でも年に２回は顔を出している。

【委員】 医師会との連携だけではなく、もっと現場レベルでの連携強化が必要では。

【三沢病院】 今は専任スタッフ１名と看護師長１名の２名で行っている。今後は、連携室のスタッフを充実させていきたい。

【委員】 新たな患者という説明については、どういうことか。

【三沢病院】 泌尿器科の医師が３名になるという内定をいただいた。それによって新たな透析患者の受け入れが出来るようになる。

【委員】 そういった医師不足により患者の受け入れが制限されている科が他にもあるか。

【三沢病院】 今はチーム医療を実施している。医師はもちろん、技師や看護師も必要である。当院は二次救急で、今の医師数で３６５日、２４時間の救急を受け入れるのは非常に厳しい状況である。対応できない患者については、八戸や青森の三次救急に搬送している。医師がいれば何とかなる部分と医師がいても何とかならない部分がある。

【委員】 外来患者を少なく見積もっている要因は？

【三沢病院】 前年度予算では予想患者数が多過ぎたために比べると減っているが、令和８年度は現実的な数値を設定しており、令和７年度実績よりは増える見込みとなる。

【委員】 増える要因は何か。

【三沢病院】 今年度の実績を見込んだ上で、数値の積み上げをしている。地域連携による紹介患者の増加もある。

【委員】 紹介状が必要なくなった事による増加ではないのか。

【三沢病院】 影響もあるとは思うが、そこについての把握はしていない。

【委員】 今一度、紹介状が無くても市立病院にかかれるという事をアナウンスすべき。

【委員】 医業外費用の増加理由は何か。

【三沢病院】 院内保育園が民間の保育園になることに伴い、土地や建物に係る負担金部分の一括清算が必要となり費用が増加する。

【委員】 収支差引額の8億5000万円はキャッシュベースか。

【三沢病院】 減価償却費も含まれており、キャッシュベースではない。

【委員】 総務省の経営アドバイザーから経営改善策が出て来てるか。

【三沢病院】 1、病棟の再編により回復期病棟を増やし収入増加。2、地域に根差した透析の受入れで収入増加。3、様々な加算を取れば収入増加。という3つを提案されている。